

科目名	データ科学と社会Ⅱ	教員	木下 真 (単独)	免許・資格 等との関係	保育士			関係性が 最も強い 学修成果	① 豊かな人間性 広い見識		
					幼稚園教諭	選択			② 専門的知識 技能		
					小学校教諭	選択			③ 論理的思考力 情報活用能力	○	
					中学校教諭（英語）	選択			④ 表現力 コミュニケーション力		
					高等学校教諭（英語）	選択			⑤ 使命感 教育的愛情		
ナンバリングコード	CMI-I02I-022220I	年次	Ⅰ 年前期		特別支援学校教諭				⑥ 地域社会の一員 としての自覚		
授業形態	講義				SPARC 教育プログラム	必修	③		⑦ 広い視野に立った 課題解決力		
授業科目の取扱い	面接授業科目	単位	Ⅰ	卒業要件	初等幼児教育専攻	選択必修			⑧ 創造的思考力 実践力		
					英語教育専攻	選択必修					
教科及び教職に 関する科目	免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目（幼稚園・小学校・中学校（英語）・高等学校（英語））										
各科目に含める ことが必要な事項	教養科目										
授業テーマ	データサイエンス、データリテラシー、ICT										
授業概要	この授業では、データ科学と社会Ⅰの内容を踏まえたうえで、以下について解説する。 (1) データ・AI の利活用において留意すべきこと 情報セキュリティ、倫理、法規について解説する。 (2) データ・AI 利活用の動向 データ・AI 利活用のための技術や最新動向について解説する。また、業務や研究におけるデータサイエンスの活用事例を紹介する。										
到達目標	1. データ・AI の利活用において留意すべきことを理解し、実践できる。										
	2. データサイエンスの社会への応用について自説を述べることができる。										
履修条件、注意事項											
授業計画									到達目標	授業方法	
	1. はじめに								1, 2	同時双方向	
	2. データを守る上での留意事項								1	面接	
	3. データ・AI を扱う上での留意事項①								1	同時双方向	
	4. データ・AI を扱う上での留意事項②								1	面接	
	5. データ・AI 利活用のための技術								2	同時双方向	
	6. データ・AI 利活用の最新動向								2	面接	
	7. 産業分野におけるデータ・AI 利活用の現場								2	同時双方向	
	8. 学術分野におけるデータ利活用の現場								2	面接	
	※2 回目以降の授業の順番は、入れ替わることもある。その際は授業で事前に周知を行う。										
アクティブ・ラーニング	ディスカッション										
成績評価基準	評価の方法：①レポート(70%)、②授業態度・授業への参加度（30%）により、総合的に評価する。 評価の基準：①知識・理解：授業で取り上げた理論や知識を扱った問題に解答できる。 ②関心・意欲、態度：授業に意欲的に参加し、演習に取り組むことができる。										
フィードバックの方法	課題（試験やレポート等）に対するフィードバックは対面もしくは Moodle を通じて行う。										
時間外の学習 について	予習：次の授業で用いる資料を読むこと。資料を読んでわからない部分があれば、自分で調べてみること。（各回 90 分程度） 復習：各回の授業内容が理解できているかを確認する。また、理解ができない部分をリストアップしておくこと。（各回 90 分程度）										
教材に かわる情報	テキスト：特になし 参 考 書：特になし 参考資料等：資料等は、Moodle 上に準備する。授業の際に説明する。										
実務経験を活かした 授業について											
担当者からの メッセージ等	ノートパソコンを持参してください。ただし、メーカーのサポート期限が切れているソフトは利用できません。 Email：kdev@yamaguchi-u.ac.jp （木下） ：hkawamoto@y-gakugei.ac.jp（河本）※SPARC 教育プログラム担当者										